

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-55℃～ +105℃（注1）	保存温度範囲		-10℃～ +60℃（注3）	
	使用湿度範囲	20% ～ 80%（注2）	保存湿度範囲		40% ～ 70%（注3）	
	電 圧	AC/DC 250V	UL・C-UL規格	電 圧	AC/DC 30 V	
	電 流	AWG 22～24：2.0A AWG 26：1.5A AWG 28：1.0A AWG 30：0.5A		電 流	2.0A	
			適合コネクタ		DF51-12DS-2C	
適合圧着端子			DF11-****SC(F)A(##)			
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格		QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電氣的性能	低電圧、低電流下の接触抵抗	20mV 以下、1 mA（DC又は 1000 Hz）で測定する。	30 mΩ 以下		○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上		○	—
機械的性能	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗：30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	結合力及び離脱力	適合コネクタで測定する。	結合力 40.1 N以下 離脱力 3.0 N以上		○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 （室温に1～2時間放置後測定）	①接触抵抗：30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 105℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 （室温に1～2時間放置後測定）	①接触抵抗：30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐熱性	温度 +105 ± 2℃中に96時間放置する	①接触抵抗：30mΩ 以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐寒性	温度 -55 ± 3℃中に96時間放置する	①接触抵抗：30mΩ 以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
備考						
(注1) 通電時の温度上昇を含む。						
(注2) 結露のないこと。						
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。						
	△の数	訂正記事	設計		検図	年月日
③	2	DIS-H-00005274	TS. MIYAKI		SZ. ONO	20190912
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512（適応規格JIS C 5402）を適用している。			承認	HS. OKAWA	20180313	
			検 図	ST. WADA	20180313	
			担 当	TH. SATO	20180313	
			製 図	TH. SATO	20180313	
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番		SLC-363559-50-00	
HRS	製品規格表		製品名		DF51A-12DP-2DS (50)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL543-5061-0-50	③ 1/2

性能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
環境的性能	はんだ耐熱性	【はんだ槽法の場合】△3 はんだ温度260℃ 5秒以内 【手はんだの場合】 はんだごて温度 270℃, 3秒の条件にてはんだ付けを行う。 但し、端子に力は加えないこと。	機能を損なうような、外観の変形及び端子等に著しいガタがないこと。△3	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245 ℃, 浸せき時間 5 秒間の はんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の95%以上が新しいはんだでぬれていること。	○	—